

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	石川県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 石川県理容美容専門学校

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信 制の 場合	実務経験のあ る教員等によ る授業科目の 単位数	省令で定める 基準単位数	配 置 困 難
衛生専門課程	理容科	夜・ 通信	67 単位	7 単位	
	美容科	夜・ 通信	67 単位	7 単位	
	ソーシャル ビューティーカー	夜・ 通信	67 単位	7 単位	
		夜・ 通信			
(備考) 1 単位 30 時間とし、2010 時間を基準とする					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.ishikawaribiyou-ac.com/other/sitepolicy#information

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	石川県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 石川県理容美容専門学校

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.ishikawaribiyoun.ac.com/other/sitepolicy#information

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	理容業	2025.5.26 ～ 2028.5.25	学校経営に関する 助言及び提言
非常勤	理容業	2025.5.26 ～ 2028.5.25	学校経営に関する 助言及び提言
非常勤	臨床心理士	2025.8.4 ～ 2028.5.25	学校経営に関する 助言及び提言
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	石川県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 石川県理容美容専門学校

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
・授業計画（シラバス）の作成過程 「養成施設における教科課程の内容の基準」を厳守し、必修科目、選択科目の内容が最大限、高まるようにシラバスを作成した。 ・授業計画書の作成・公表時期 作成時期：前年度 3 月 公表時期：新年度 4 月	
授業計画書の公表方法	https://www.ishikawaribiyou-ac.com/other/sitepolicy#information
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
(1) 学科試験： 1 科目につき 60 点以上を合格とする。 (2) 技能試験：各種資格試験受験レベルに達しているかを評価する。 (理容科・美容科は国家試験受験レベル) (3) 履修状況：規定の単位数（時間数）を満たしていること。	
A 100～95 点 全ての技術を習得して、完成度が極めて高い。(合格) A' 94～85 点 技術は高度であるが、1～2箇所の難点がある。(合格) B 84～75 点 技術を理解しているが、3～4箇所の難点がある。(合格) B' 74～65 点 技術を理解しているが、5～6箇所の難点がある。(合格) C 64～60 点 理解度は低い、努力の跡が認められる。(合格) D 59～55 点 理解度が低く、努力の跡が見られない。(不合格) E 54～50 点 技術・理論ともに理解されていない。(不合格)	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 学科試験、技能試験の成績評価の成績評価を点数化し下記数式により全科目の合計点の平均を算出し、各学生の順位、成績の分布状況を実施 (100点満点で点数化) 各学生の履修科目の平均成績＝学科試験及び技能試験の個人の総合点/（当該学年の履修科目数（不可の科目も含む））	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.ishikawaribiyou-ac.com/other/sitepolicy#information
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 1. 卒業認定は、成績考査（学科試験、実技試験）及び履修状況に基づき行う。 2. 卒業の判定基準は次の通りとする。 （1）学科試験：1科目につき60点以上を合格とする。 （2）技能試験：各種資格試験受験レベルに達しているかを評価する。 （理容科・美容科は国家試験受験レベル） （3）履修状況：規定の単位数（時間数）を満たしていること。 A 100～95点 全ての技術を習得して、完成度が極めて高い。（合格） A' 94～85点 技術は高度であるが、1～2箇所の難点がある。（合格） B 84～75点 技術を理解しているが、3～4箇所の難点がある。（合格） B' 74～65点 技術を理解しているが、5～6箇所の難点がある。（合格） C 64～60点 理解度は低い、努力の跡が認められる。（合格） D 59～55点 理解度が低く、努力の跡が見られない。（不合格） E 54～50点 技術・理論ともに理解されていない。（不合格） 3. 履修教科課目＝履修すべき教科課目を規定どおり履修しているかどうかをみる。 4. 履修時間数＝指定規則に基づく時間数を満たしているかどうかをみる。 5. 出席状況を把握し十分な補講を行った上で、出席状況が不良なものについては卒業を認めない。 6. 卒業認定は、校長、副校長（教頭）、教務科長、学科主任、担任、事務局長による認定会において審議し、最終認定は校長が行う。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.ishikawaribiyou-ac.com/other/sitepolicy#information

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	石川県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 石川県理容美容専門学校

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.ishikawaribiyu-ac.com/other/sitepolicy#information
収支計算書又は損益計算書	https://www.ishikawaribiyu-ac.com/other/sitepolicy#information
財産目録	https://www.ishikawaribiyu-ac.com/other/sitepolicy#information
事業報告書	https://www.ishikawaribiyu-ac.com/other/sitepolicy#information
監事による監査報告（書）	https://www.ishikawaribiyu-ac.com/other/sitepolicy#information

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報（理容科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	理容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	6 7 単位	1 9 単位	単位時間 /単位	3 0 単位	単位時間 /単位	1 8 単位
			6 7 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
8 0 人		2 0 人	人	5 人	1 0 人	1 5 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・修業期間は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。 1授業時間を50分とし、2年間で67単位を履修する。
成績評価の基準・方法
（概要） ・授業課目の成績評価は、学年末において、各学期毎に行う試験、実習の成果、履修状況及び出席時数等を勘案して行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・出席状況を把握し十分な補講を行った上で、出席状況が不良なもの（所定の履修時間に達しない者）、実技・学科の追試験において1教科でも不合格な者については進級及び卒業を認めない。 ・再追試験不合格の者
学修支援等

(概要) クラス担任制をとっており、定期的に個別相談、個別指導を実施。 また、保護者への対応も個別に実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5 人 (100%)	人 (%)	5 人 (100%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 美容業			
(就職指導内容) 就職ガイダンス、自己分析、面接指導			
(主な学修成果（資格・検定等）) 美容師国家資格、美剃師検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1 5 人	2 人	13.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) スクールカウンセラーとの連携、個人面談及び保護者との連絡を密に行う。		

学科等の情報（美容科）

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	6 7 単位	1 9 単位	単位時間 /単位	3 0 単位	単位時間 /単位	1 8 単位
			6 7 単位				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
2 4 0 人		1 7 5 人	人	1 2 人	1 1 人	2 3 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） ・修業期間は４月１日に始まり翌年３月３１日に終わる。 １授業時間を５０分とし、２年間で６７単位を履修する。	
成績評価の基準・方法	
（概要） ・授業課目の成績評価は、学年末において、各学期毎に行う試験、実習の成果、履修状況及び出席時数等を勘案して行う。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） ・出席状況を把握し十分な補講を行った上で、出席状況が不良なもの（所定の履修時間に達しない者）、実技・学科の追試験において１教科でも不合格な者については進級及び卒業を認めない。 ・再追試験不合格の者	
学修支援等	
（概要） クラス担任制をとっており、定期的に個別相談、個別指導を実施。 また、保護者への対応も個別に実施している。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
８１人 (100%)	人 (%)	８０人 (98.8%)	１人 (1.2 %)
（主な就職、業界等） 美容業			
（就職指導内容） 就職ガイダンス、自己分析、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 美容師国家資格、TONI&GUY ベーシックカッティングコース修了ディプロマ、山野流着装着付け師初中傳			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
１７９人	１３人	7.26%
（中途退学の主な理由） 経済的理由、進路変更、体調不良、通信科に移籍（４名）		

(中退防止・中退者支援のための取組)
 スクールカウンセラーとの連携、個人面談及び保護者との連絡を密に行う。

学科等の情報（ソーシャルビューティー科）

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
衛生		衛生 専門 課程	ソーシャルビューティ ー科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼間	6 7 単位	1 5 単位	単位時間 /単位	5 2 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	
			6 7 単位					
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
6 0 人		2 4 人	人	5 人	6 人	1 1 人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・修業期間は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。 1授業時間を50分とし、2年間で67単位を履修する。
成績評価の基準・方法
（概要） ・授業課目の成績評価は、学年末において、各学期毎に行う試験、実習の成果、履修状況及び出席時数等を勘案して行う。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・出席状況を把握し十分な補講を行った上で、出席状況が不良なもの（所定の履修時間に達しない者）、実技・学科の追試験において1教科でも不合格な者については進級及び卒業を認めない。 ・再追試験不合格の者
学修支援等
（概要） クラス担任制をとっており、定期的に個別相談、個別指導を実施。 また、保護者への対応も個別に実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10人 (100%)	人 (%)	10人 (100%)	人 (%)
（主な就職、業界等） エステ業、美容部員、ネイル業			

(就職指導内容) 就職ガイダンス、自己分析、面接指導
(主な学修成果(資格・検定等)) CIDESCO 国際ライセンス、JMA 日本メイクアップ技術検定、JNEC ネイリスト技能検定、 日本化粧品検定、アロマセラピー検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30人	6人	19.8%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、生活不良		
(中退防止・中退者支援のための取組) スクールカウンセラーとの連携、個人面談及び保護者との連絡を密に行う。		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
理容科	80,000 円	480,000 円	1,672,000 円	
美容科	80,000 円	480,000 円	1,672,000 円	
ソーシャル ビューティ科	80,000 円	480,000 円	1,672,000 円	
	円	円	円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ishikawaribiyou-ac.com/other/sitepolicy#information		
第三者評価の基本方針(実施方法・体制) 自己評価の結果を本校の関係者より組織した学校関係者評価委員会に報告し、意見を聞き、その意見を尊重し教育活動及び学校運営に活用する。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別

(元) 石川県理容美容専門学校理事長 (元) 石川県理容生活衛生同業組合理事長	2026. 4. 1～2027. 3. 31	関係業界
日本ディーラー協会 理事	2026. 4. 1～2027. 3. 31	関係業界
石川県専修学校各種学校連合会 事務局長	2026. 4. 1～2027. 3. 31	専修学校団体
理容業	2026. 4. 1～2027. 3. 31	卒業生
保護者	2026. 4. 1～2027. 3. 31	保護者
心理臨床オフィス 代表	2026. 4. 1～2027. 3. 31	専門分野の関係団体
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ishikawaribiyou-ac.com/other/sitepolicy#information		
(備考)		
(令和7年度未実施)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ishikawaribiyou-ac.com/other/sitepolicy#information
--